

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年3月

学校法人常盤学園
新屋幼稚園
西町幼稚園

1. 本園の教育目標 意欲をもって頑張る子
・生き生きと活動する子 ・思いやりのある子、感動する子、健康な子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画
・子どもの遊びと生活が主体的となるように援助していく

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
1 本園の教育目標を理解し、改訂された幼児教育要領をもとに保育に生かされたか	B	創設から園児一人一人の気持ちを大切にしている教育要領改訂では幼児教育の非認知能力を育てる必要性を重視している。日々友達との遊びの中で何が育っているかを見ながら一人一人との関わりを大事にしてきた。
2 教育の質向上のために、園内外の研修を充実させる	A	新型コロナウイルス感染防止の為、園外での研修参加はできなかったが、園内で職員が主体性をもって研修プログラムを進め、一人ひとりの幼児理解と保育の在り方、環境設定等の話し合いをもち実践を目指せた。
3 発達支援を要する園児の支援と保護者との相談をしていく	A	焼津市の巡回相談と繋がりを持ち、その子に寄り添った 幼児理解と支援を行ってきた 保護者と連携を密にし、園と家庭と連携しながら支援してきた。
4 安全管理 新型コロナウイルス感染症対策 ICT（連絡アプリ）の導入	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、マスク着用、体温測定、給食黙食、間隔を開けるなど配慮したが、学級閉鎖が増え参観日中止や行事のやり方に工夫してきた。 本年度から連絡アプリを導入し、保護者に早く情報が発信できるようになった
5 労働基準法に基づく対応	C	休憩時間の取り方、打合せ時間、仕事の段取り等各々が工夫して取り組む努力をしてきたが、難しい

評価（A…十分に成果あり B…成果あり C…少し成果あり D…成果なし）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	焼津市私立幼稚園地区研究会において新屋幼稚園では、公開保育を行い市内の教員と焼津市保育幼稚園課合わせて17名が来園。子供たちの砂場遊びの取り組みを参観して頂きそこから子どもの育ちを研究しあった。汚れを気にせず裸足でダイナミックに生き生きと遊び、子供たちが主体的に遊んでいる姿に参加者が驚き、感銘して頂いた。教育要領改訂から教員同士子どもの育ちについて話し合いを充分してきた。また職員が自分の悩みや気持ちを園長、先輩、同僚に聞いて頂き各々精神的に安定できる園になっている。そのことは、子供たちや保護者にも影響を及ぼす。大事にしていきたい。

評価（A…十分に成果あり B…成果あり C…少し成果あり D…成果なし）

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1 職員間の連携	環境構成、一人ひとりの幼児の発達について話し合いを大切にし、自分の意見（気持ち、考え）を発言し、共通理解をもって保育の資質向上を目指す 自らが学ぶ姿勢をもっていく
2 安全管理	緊急事態発生に備えて危機管理マニュアル等を教職員間で共通理解し、配慮する。
3 保護者との連携	緊急事態発生への連絡を密にする。行事等PTA会長と連携していく。 発達支援が必要な園児の保護者との連携、相談をしていく 園児一人ひとりの生活の様子等連絡（スクールバス児）を密にしていくことで、園児の気持ちを共有できるようにする

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・新型コロナウイルス感染防止対策では、教職員が充分配慮しながら取り組み、保育されている今までやってきた行事(発表会・遠足・運動会・卒園式・入園式等)を残しつつ内容、方法を変えながら幼稚園生活が楽しい思い出に残るように取り組んでくれている事を本当に嬉しく思う。
- ・少子化の中でも発達支援が必要な園児も年々増えている。保育者を手厚くし、一人ひとりの幼児と関わりを大切にし、建学の精神、創設者の思いを大事にして頂きたい。
- ・安全、危機管理の充実として、地震、自然災害、外部不審者に対応できるように想定した訓練を重ね、地域との連携もしておく。
- ・新屋幼稚園、西町幼稚園のそれぞれの決算をして経営評価を今後もして頂きたい。